

さまざまな体験で子どもたちの学びに充実を！

町内4公民館は、子どもたちの放課後や休日の充実を図る取り組み「アナザースクール」とコラボし、6小学校で二ユースポーツの体験講座を開きました。

7月5日に高久小学校で行われた講座では、那須公民館の吉田館長が講師となり、7人の児童が「ディスク」を体験しました。

ディスクとは、赤と青の2チームに分かれて、1チーム6枚の円盤を投げ、どちらがポイントに近づいているかを競うスポーツで、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しむことができます。子どもたちは、時には繊細に、時には力いっぱいディスクを投げ、初めて体験するスポーツを楽しみました。



狙いを定めて「えいっー」。ポイントに近づけられるよう一生懸命に投げました。



ルールを確認しながら、どちらのディスクがポイントに近いかが協議！

忍者になって修行で「じぎる」！

紙吹雪の術！最後は、きれいに新聞紙を拾って、修行は終了しました



新聞紙を頭に乗せて、そろそろりと忍者の動き！



7月6日、宇都宮共和国専任講師しもがれの霜触智紀先生を講師に招き、伊王野保育園で親子運動遊びを行いました。園児たちは、新聞紙を丸めて投げる「石投げの術」や、手で広げた新聞紙をパンチやキックで破る「壁破りの術」などの修行を通して、家庭にあるものを使って親子で楽しく運動できることを体験しました。



体験後は、こども未来課の深沢指導主事から、子どもの成長における運動の大切さについて話があり、体を動かすことの大切さを学びました。

手と足がカニと魚に大変身！

7月12日、子育て支援センターはおおむね毎週水曜日に実施している「わくわくキッズルーム」で、子どもの成長の記録にもなる、手形や足形を取っておもちゃを作る催しを行いました。

カニや魚の形に切り取られた小さくてかわいらしい手形や足形は、折り曲げた紙皿に貼り付けることで、ゆらゆら揺れるおもちゃになりました。

もうすぐで保育園に入園するご家族も参加しており、手形を見ながらお子さんの成長を喜びつつも、今後は参加できなくなることを悲しむ方もいました。子どもだけでなく、そのご家族の交流の場として、多くの方のご参加をお待ちしています。



お子さんの成長の記録にもなる、かわいいおもちゃができました

